

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12】

クロスウェーブの採用によるコスト縮減

工事名：キトラ古墳周辺地区調整池設置工事

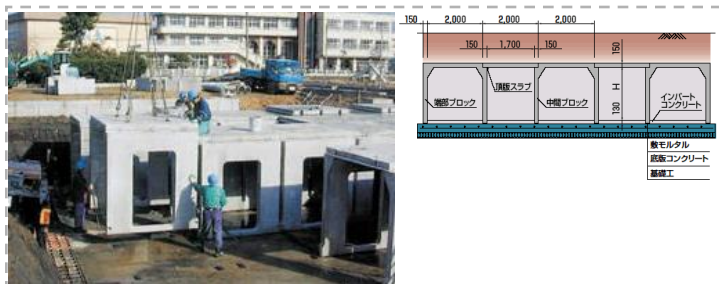
概要：【従来工法】プレキャストコンクリート製貯留槽 ⇒ 【新技術】クロスウェーブ

効果

●今回使用するクロスウェーブは、従来工法であるプレキャストコンクリート製貯留槽と比較して、材料が樹脂製であることから、単位体積当りの重量が低減出来るほか、高空隙率で体積あたりの施工規模が小さくなるため省力化などのメリットがある。従って、従来工法に比較して材料費・施工費が縮減出来る。

◎本工事においては、工事費を131.7百万円から106.4百万円（縮減額25.3百万 縮減率約19%）に縮減している。

従来工法：プレキャストコンクリート製貯留槽



新技術：クロスウェーブ

